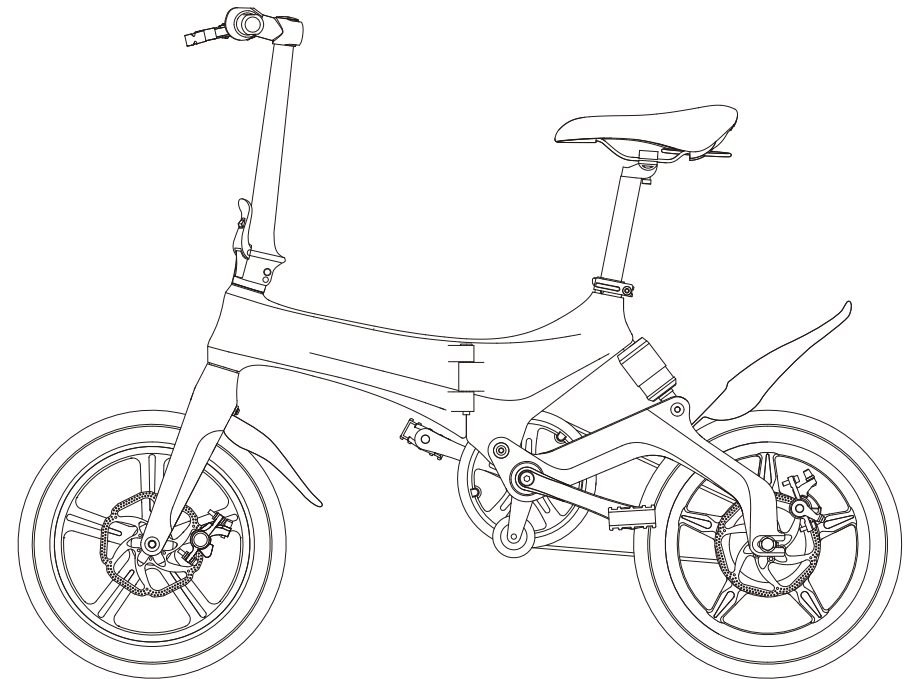


# 電動アシスト自転車 ONEBOT S6 取扱説明書

この度は、弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
ご使用前に、この説明書をよくお読みの上、大切に保管してください。



## Electric Folding Bike

## [1] はじめに

S6電動アシスト自転車をご購入いただきありがとうございます。  
電動アシスト自転車にお乗りいただく前に、取扱説明書をよくお読みください。

1. 自転車の基本的操作法とLCDディスプレイの使用法を十分ご理解ください。
2. 安全な乗車を心がけ、より楽しく安全にご使用ください。
3. 自転車の構造、メンテナンス方法を理解して長くお楽しみ下さい。

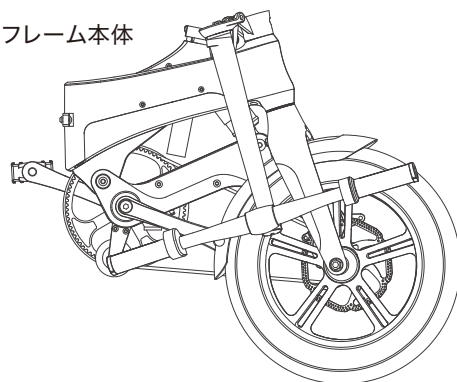
## [2] セット内容

### 梱包内容

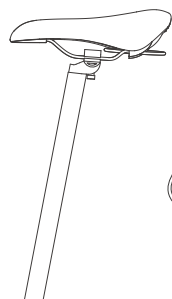
#### ●カートン内容物

1. アシスト自転車 ×1
2. サドルとシートポスト ×1
3. 充電器 ×1 バッテリー ×1
4. バッテリーロック用鍵 ×2
5. 泥除け ×2
6. 六角レンチ ×1

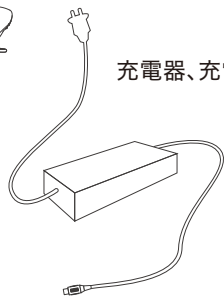
バイクフレーム本体



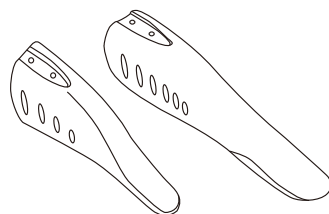
シートポストサドル



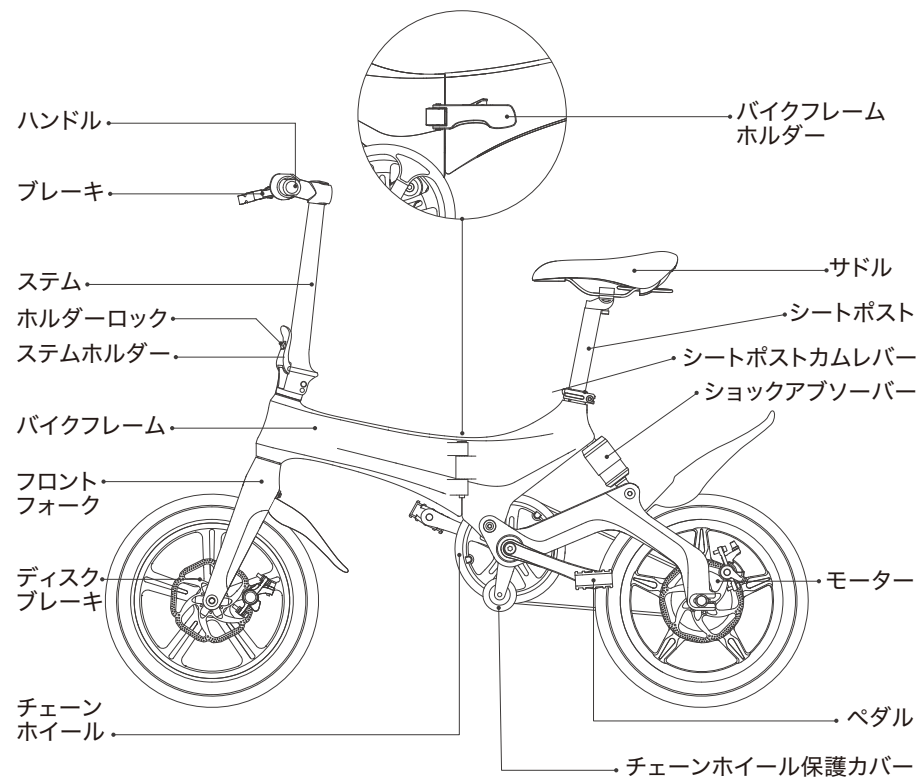
充電器、充電ケーブル



泥除け

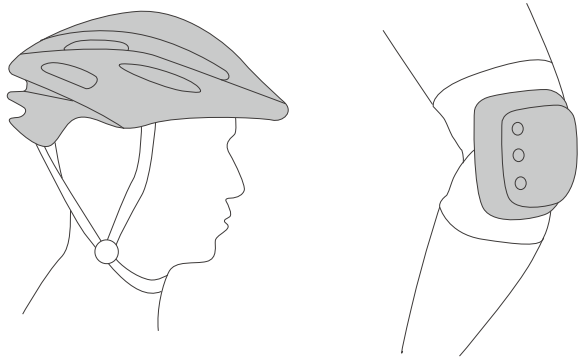


## [3] 自転車の構造 (図は参照用)



## [4] はじめてお乗りになる前に

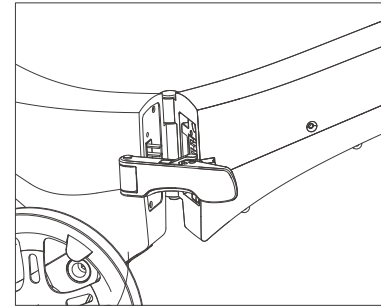
初心者の方は、ヘルメット、膝あて、肘あてなどの保護具の使用をお勧めします。  
また、車の通らない平坦な場所で十分に練習してください。



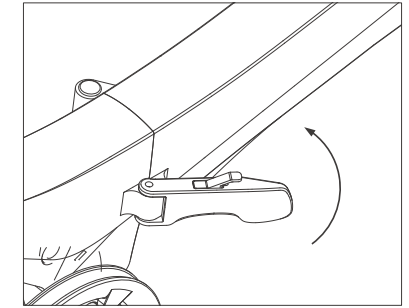
注意:

- ・この電動アシスト自転車は、市街地や広い道路を走るのに適しています。
- ・高速道路など、その他の規制がある道路では決して乗らないで下さい。
- ・交通規制を守らないと、ケガや事故につながるおそれがあります。
- ・二人乗りは禁止されています。

## [5] バイクフレームの組み立て方

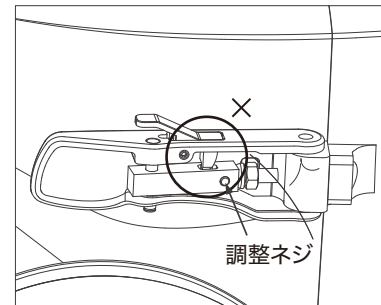


① バイクフレームを持ち上げながら広げます。

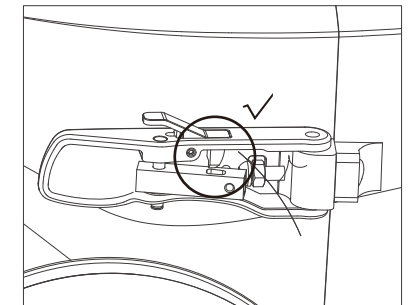


② バイクフレームホルダーを締めてください。ストッパーが機能しているか確認してください。

〈バイクフレームホルダーの調整方法〉

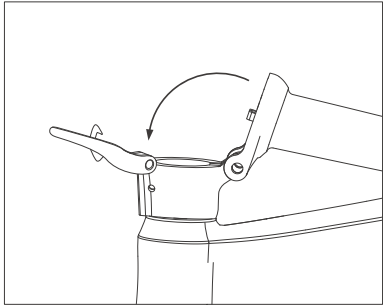


ロックがかかりにくい場合は調整ネジで調整します。

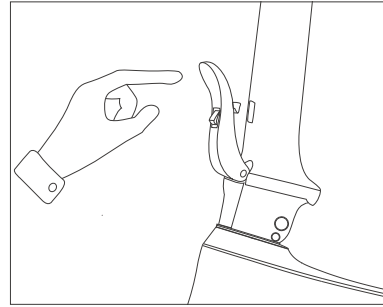


調整後、ロックを押してしっかりはまるか確認してください。

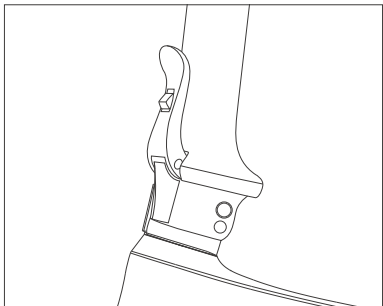
## [6] ステムの組み立て方



①自転車をしっかり持ちステムを直立させます。

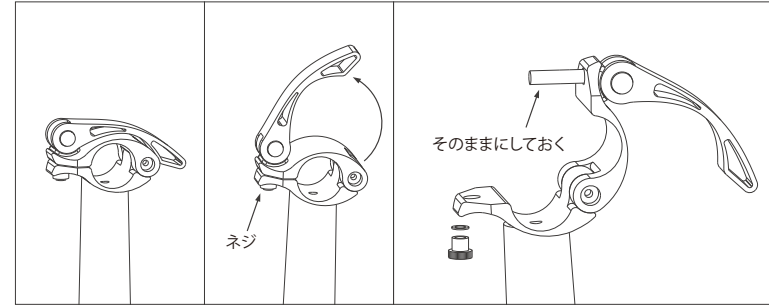


②ステムホルダーで固定します。

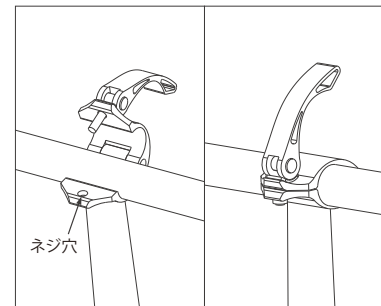


③ステム部分を動かしてみて、しっかりロックされているか確認します。

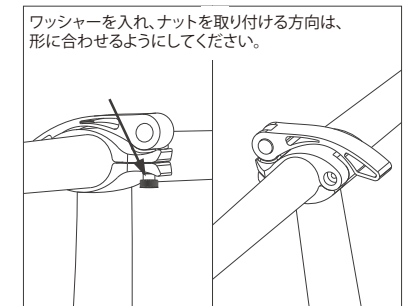
## [7] ハンドルの組み立て方



①ハンドルバーホルダーを開き、ネジを時計回りにまわして緩め広げます。

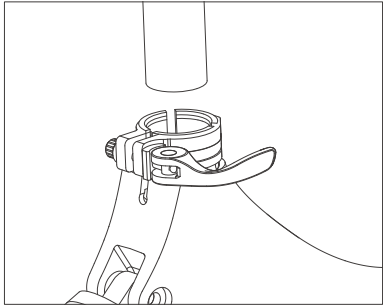


②図と同じようにハンドルをホルダーの中に入れネジを通します。

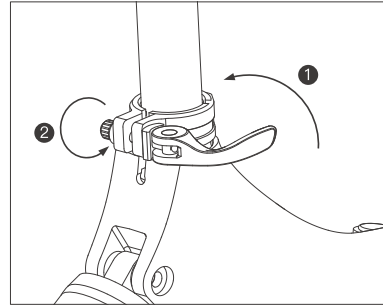


③ナットとワッシャーを元に戻して締めハンドルバーの角度を調整し、取付を完了します。

## [8] シートポストの差し込み方

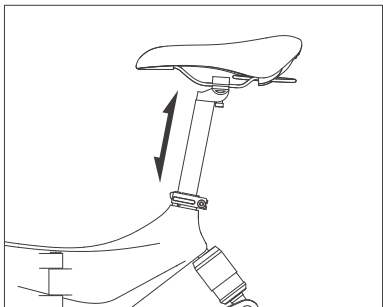


①シートポストのカムレバーのネジを緩め本体をしっかり抑えサドルを差し込みます。

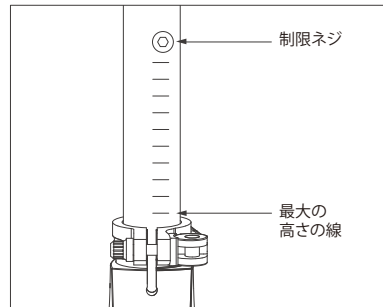


②図と同じようにシートポストのカムレバーを締めます。サドルを上下左右の方向に押ししっかり固定されているか確認してください。

## シートの高さの調節

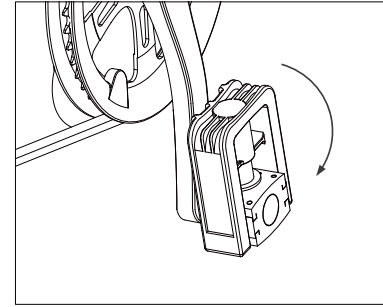


③シートの高さを調節するときはカムレバーを緩めサドルの高さを調節します。

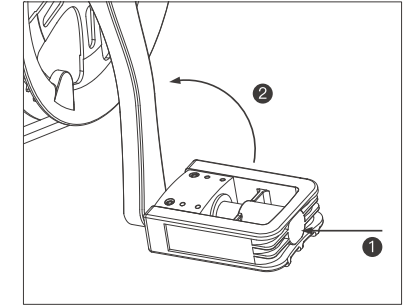


④シートポストのカムレバーが制限内にあることを確認します。一番低いサドルの高さは地面から800mmで、そのときは制限ネジが接触して止まります。

## [9] ペダルを広げる／ペダルをたたむ

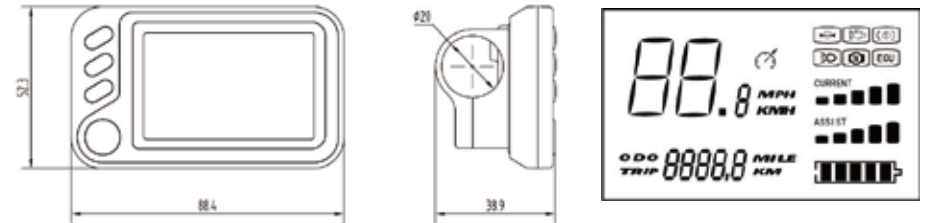


①自転車本体を抑えながら、図のようにペダル部分を広げます。



②自転車本体を抑えながら、図と同じように、ペダル全体を奥に押しなが折り曲げます。

## [10] メーターの説明



〈注意〉

メーターの防水性は生活用防水を取得しており、天候が雨でもお乗りいただけます。ただし、台風などの大雨時の使用はお控えください。

表示内容	機能	説明
	速度計	時速を表示 (km/h)
	走行距離	ODO (総走行距離) / TRIP (単一走行距離) ※セットボタンで切替できます
	バッテリー残量	バッテリー残量表示 ※5段階表示
	ブレーキ表示	ブレーキの際表示
	ライト	ライトON (電源ボタンを短く2回押す) ライトOFF (ライトがついた状態で電源ボタンを短く1回押す)
	電気故障	故障時に点灯します
	コントローラー故障	故障時に点灯します
	電流表示	CURRENT欄 ※5段階表示
	電動アシスト表示	ASSIST欄 ※3段階表示

#### <電源オンの方法>

電源ボタンを「1回短く押す」と電源が入り、バッテリー残量が確認できます。再度「1回短く押す」とライトが点灯します。ライトが点灯した状態で「1回短く押す」とライトが消灯します。

#### <電源オフの方法>

電源ボタンを「1回長く押す」と電源がオフになります。

#### <バッテリー残量の表示>

電源オンにするとバッテリー残量は5段階で表示します。残量を確認して早めに充電してください。

#### <電動アシストの表示>

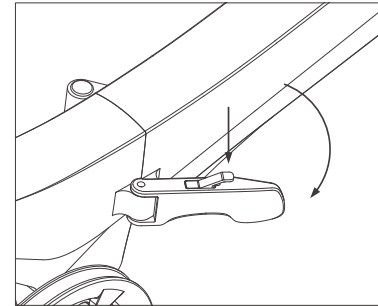
電動アシストモードは「1」が弱、「2」が中、「3」が強です。「セットボタン」を押してから上下の矢印ボタンを操作して、「1」から「3」まで切替できます。

#### <走行距離の表示>

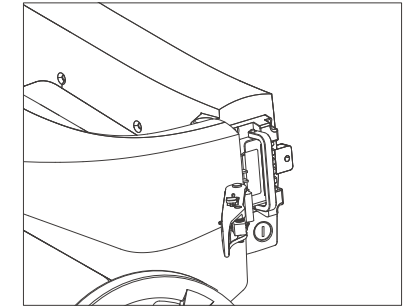
「セットボタン」を押すと、ODO (総走行距離) と TRIP (単一走行距離) の表示の切替ができます。TRIPの表示は下の矢印ボタンを「1回長く押す」とゼロクリアされます。

## [11] バッテリーの充電方法

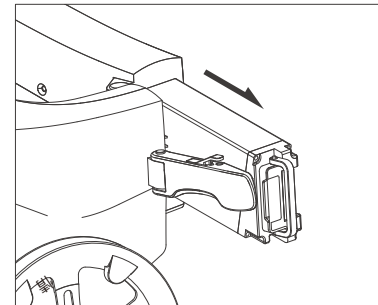
### ●充電方法〈1〉バッテリーを外して充電



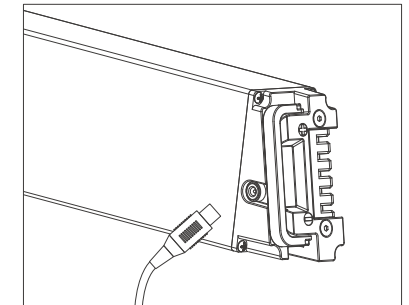
①電源を切りバイクフレームのカムレバーのロックを押しながら、図と同じように開けてください。



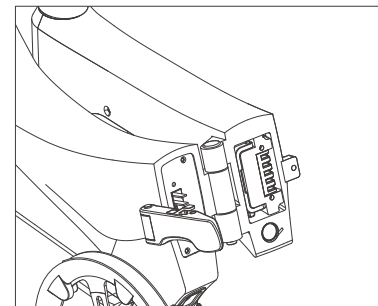
②自転車を抑えながらおろし、バッテリーロックを鍵で外してください。



③バッテリーを引き抜いてください。



④バッテリーボックスからバッテリーを引き抜きプラグを差して充電します。



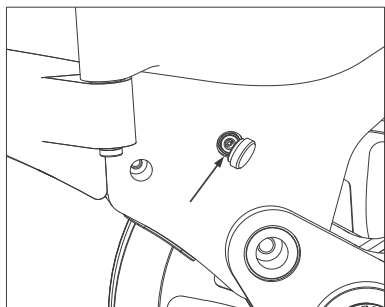
⑤バッテリーを挿入して鍵をかけバイクフレームを締めてカムレバーでロックしてください。しっかり固定されているか確認してください。

#### <注意>

バッテリー挿入部の対極にある端子にバッテリーの金属の外殻を接触させないようにしてください。接触すると火花放電が起き、危険です。

※バッテリー引き出し時には、必要に応じて既に付いているゴムを使い、取手を出すようにしてください。

## ●充電方法〈2〉バイクフレームから直接充電



充電するため、自転車本体の充電ポートのシリコン蓋を開いてプラグを差し入れ充電します。(壊さないようにシリコン蓋をそっと開いてください)

注意: 充電中は充電器の表示は[赤]、充電が終了すると[緑]に表示が変わります。

※この充電方法をお勧めします

## [12] 泥除けの装着

1. 短いほうが前輪用、長いほうが後輪用です。
2. それぞれ、車輪の後方部分のネジを一旦外し、泥除けを装着してください。

## [13] 乗ってみましょう

1. キックスタンドを後方にはね上げてサドルにまたがります。
2. メーターの電源スイッチを1回押します。

(注意)

- ・ペダルを踏まずに電源スイッチを押してください。
- ・走行中に電源スイッチを押さないでください。

3. サドルにしっかりと座り、ハンドルを両手で握り出発します。
4. 自転車が動き出すと、電動アシストシステムが作動します。

(注意)

- ・ペダルを強く踏むと、モーターがそれに応じて強いアシスト力を出すため発進時にペダルを強く踏むことはやめましょう。急発進となり危険です。
- ・けり乗り(片足でペダルをこぎながら助走し反動をつけてサドルにまたがる乗り方)は転倒や事故につながるおそれがありますのでやめましょう。
- ・走行中に異常な音がした場合は、乗車を中止し販売店等に相談してください。

## [14] 仕様

構成	サイズ	133x58x104cm
	折りたたみサイズ	81x43x54cm
	シートの高さ	地面より80cm-91cm(調整可能)
	ホイールベース	95cm
	重さ(バッテリー含まず)	17.5kg
	ブレーキ	ディスクブレーキ(フロント、リア)
	タイヤ	直径16x1.95インチ
	フレーム素材	マグネシウムフレーム
	サスペンション	リアスプリング ショックアブソーバー
バッテリー	仕様	取り付け、取り外し可能。盗難防止ロック付き。
	容量	36V / 5.2Ah
	タイプ	リチウムイオンバッテリー
	重さ	1.3kg
	充電電流	2A(最大)
	充電時間	3~4時間
	消費電力	0.2-0.3 Wh
	定格入力・出力	100V 50/60Hz 2.0A    42V 1.5A
	充電サイクル	約500回充電
充電温度	0°C-45°C	

スピード・ その他仕様	アシスト速度範囲	24km/h未満
	最大走行距離	50km(アシスト併用)
	最大総質量	120kg
	登坂角度	15°未満
	照明装置	フロントLEDライト
	停止距離(ドライ)	5m(スピード20km/hのとき)
	停止距離(ウェット)	10m(スピード20km/hのとき)
	モーターシステム	電気式/ペダルアシスト
	作動温度	-10°Cから50°C
メーター	ディスプレイ	LCDディスプレイ
	電力残量	有
	速度計	有
	総走行距離	有
	速度モード	3モード(高速/中速/低速)
モーター	定格電圧	36V / 250W
	トルク	12N・m
	防水レベル	IPX4




〈注記〉 1. 走行距離は重さ、道路の状況、天候、風向き、乗り方などによって変動します。上記の走行距離は重さ65kg、気温25度、平坦な道路、風速10m以下、フル充電の環境でテストしています。

2. バッテリーの充電は付属品をお使いください。




3. 決められた使い方をしてください。










## [15] 安全上のご注意<必ずお守りください>

● 誤った使い方をしたときに生じる危害や程度を区分して説明しています。






	危険	「死亡や重症を負うおそれ大きい内容」です
	警告	「死亡や重症を負うおそれがある内容」です
	注意	「軽症リスクや財産の損害が発生するおそれがある内容」です










● お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

	禁止	「死亡や重症を負うおそれ大きい内容」です
	必ず守る	「死亡や重症を負うおそれがある内容」です
	注意	「軽症リスクや財産の損害が発生するおそれがある内容」です

 危険		
バッテリー について	 禁止	● (+)と(-)を金属などで接触させない ⇒発熱・発火・破裂の原因
	 禁止	● 火の中への投入、加熱をしない ⇒発熱・発火・破裂の原因
	 禁止	● 火のそばなど高温の場所で充電・使用・放置しない ⇒発熱・発火・破裂の原因
	 禁止	● 衝撃を与えたり、分解・改造をしない ⇒発熱・発火・破裂の原因
	 禁止	● 専用の充電器、専用アダプター以外は使用しない ⇒発熱・発火・破裂の原因
	 禁止	● 落下させない ⇒発熱・発火・破裂の原因
	 禁止	● 再生・リサイクルバッテリーは使用しない ⇒発熱・発火・破裂の原因
充電器 について	 禁止	● 電動アシスト自転車バッテリーの充電以外の使用は絶対しない ⇒バッテリーの液漏れ・発熱・破裂によるケガの原因



 警告		
バッテリーについて	 禁止	●水に入れたり、水中に投下したりしない ⇒端子部から水が入ると発熱・発火・破裂の原因
	 禁止	●傷ついたまま使用しない
	 禁止	●大雨などで自転車本体(含むバッテリー)が水につかった場合、使用しない
充電器について	 禁止	●充電コードを充電器に巻き付けて保管しない
	 禁止	●充電中はカバーをかけたり、上に物を置いたりしない
	 禁止	●幼児やペットが触れる所に放置しない ⇒コードをかじると感電・火災の原因
	 禁止	●コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしない
	 禁止	●濡れた手で電源プラグの抜き差しはしない ⇒感電の原因
	 必ず守る	●充電中に次の異常を感じたら充電を中止する (異音・異臭・煙の発生)
自転車本体について	 禁止	●組立後や調整後の締め付け、固定を確認せずに乗らない ⇒転倒でのケガの原因
	 禁止	●改造や分解はしない
	 禁止	●回転部(車輪・チェーンなど)に手や足を近づけない ⇒ケガの原因
	 必ず守る	●ブレーキワイヤーなどがハンドル、ステム、バイクフレームに巻き付いていないか確認

 警告		
ブレーキについて	 禁止	●前後ブレーキ動作を確認せずに乗らない ⇒衝突・転倒によるケガの原因
	 禁止	●雨天時や下り坂ではスピードを出さない ⇒衝突・転倒によるケガの原因
	 禁止	●前ブレーキだけを強くかけない ⇒車輪のロック・転倒によるケガの原因
チェーンについて	 禁止	●たるんだまま走行しない ⇒チェーンが外れ、転倒によるケガの原因
サドルについて	 禁止	●サドルの上面が傾いたまま走行しない ⇒転倒によるケガの原因
	 必ず守る	●乗車前に、必ずがたつきやずれがないか点検する ⇒転倒によるケガの原因
転倒事故を防ぐ	 禁止	●片手運転は危険、必ず両手で運転する ⇒転倒によるケガの原因
	 禁止	●階段やエスカレーターの上で運転しない ⇒転倒によるケガの原因

## [16] その他留意事項

### ●自転車に乗るときに

- 1.事故やケガの予防の為、ヘルメット、手袋、膝あて、肘あて、ゴーグルの着用を推奨します。
- 2.自転車に乗る前には、安全チェックを必ずしましょう。
- 3.積雪や濡れた路面などでの使用は避けましょう。
- 4.傾斜角度15度を超える道路では乗らないようにしましょう。
- 5.12歳未満の子供には、このアシスト自転車に乗らないことをお勧めします。
- 6.急加速、急減速を避け乗車中は体重を前後に傾けないでください。
- 7.バッテリーが少なくなったときは、速度を低くして走行し、出来るだけ早く充電してください。
- 8.いかなるときも、両手でハンドルバーでを持つようにしてください。
- 9.暑い時期、自転車を車のトランクに保管しないでください。
- 10.道路に出る前にその地域の交通ルールを十分確認してください。
- 11.他の自転車とは、十分な距離を保ちましょう。
- 12.もし、薄暗い環境で乗るときは、ライトを点灯し、速度を落して運転しましょう。
- 13.電動アシスト自転車に慣れていない人には貸さないでください。
- 14.薬を飲んだり飲酒したときには、絶対に乗らないで下さい。
- 15.ゆっくりと加速するようにしましょう。急に加速するとバランスを崩して転倒する可能性があります。
- 16.乗る前に、しっかりブレーキが作動するか、必ず確認してください。

### ●充電時に

- 1.気温範囲-10℃から55℃の間で充電してください。また、バッテリーは乾いた状態で保管してください。
- 2.充電は、同梱された専用の充電器を使用し、充電時間は6時間を超えないようにしてください。また、充電圧は2Aをこえないようにしてください。
- 3.バッテリー自体を長期間保存しなければならない場合は、乾燥した涼しい場所に保管してください。また最低1か月ごとに1度は充電してください。
- 4.説明書に従わないで充電し、故障等が発生した場合は、当社は責任を負うことは出来ません。
- 5.充電は、乾燥した場所で行い、密となる場所や高温の場所では実施しないでください。
- 6.充電が完了したら、充電プラグを丁寧に抜き充電器を取り外し、充電をしていないときは充電器を電源に入れしないで下さい。
- 7.充電器を自転車につないだまま自転車を動かさないでください。
- 8.リチウムイオン電池の特性として、電池容量は気温の状況により低下することがあります。  
例) 約-10度では、約60%、0度で約70%、25度で約100%です。
- 9.充電器を廃棄するときはお住まいの地域のルールに従ってください。

## [17] メンテナンスと保管

- 1.自転車は日当たりが強い場所や湿気の多い場所から離れて保管してください。
- 2.自転車のネジや小さな部品は定期的にチェックを行い必要に応じて締めなおしてください。
- 3.自転車の清掃にアルコール、ガソリンまたはその他の腐食性化学溶剤を使用しないでください。
- 4.チェーンの張力基準:上下に動かして、チェーンが10mm以上揺れる場合は、チェーンを締めなおして下さい。
- 5.ディスクブレーキから異常な音がした場合は、ディスクブレーキとディスクローターの位置の調整してください。  
ディスクローターのたわみが大きな場合、または、ディスクブレーキが効かなくなっている場合は、ディスクローター又はブレーキを交換する場合があります。
- 6.メンテナンスの為に3か月ごとにバイクフレームホルダーのネジに油を注し、チェーンにも油を注してください。
- 7.内部の電子部品の不具合を引き起こす可能性があるため、自転車を水で洗わないようにしてください。

### ●ブレーキの調整

ブレーキは自転車乗るために大切な装備です。乗車の前には必ず点検してください。右が前輪ブレーキ、左が後輪ブレーキです。



左側のハンドルレバー

#### <ブレーキレバーの調整>

- ・ブレーキレバーのあそびが大きい場合は、調整ネジとロックナットを緩め、あそびの幅を調整し、最後にロックナットを締めます。
- ・通常、ブレーキレバーのあそびは、2分の1から3分の2を目途に調整し、ブレーキの利きを確認してください。
- ・右側のブレーキレバーも同様です。



後輪の  
ブレーキワイヤー

#### <ブレーキワイヤーの調整>

- ・ブレーキの利きが悪くなったときは、ブレーキワイヤーを調整するため、ワイヤーを固定している部分のネジを六角レンチを使って緩めます。ワイヤーを上下に調整してください。ブレーキが利きすぎる場合は、再度六角レンチを使って緩め、ワイヤーを調整してください。
- ・調整後は、再度ネジをしっかりと締めてください。
- ・前輪のブレーキワイヤーも同様です。

ブレーキ	ブレーキの機能不全による事故をおこさせないようにチェック
タイヤ	タイヤは、破裂したりパワーが過剰になった場合に備えて空気圧をチェック
タイヤリム	リムが詰まったり壊れた場合に備えて、リムの状態をチェック
ショックアブソーバー	ショックアブソーバーの状態を確認し、油を注したり、良好な状態にします
スロットル	機能不全、故障のときに、スロットルの状態をチェック
ワイヤー	配線不良の場合、配線ポートのゆるみ、脱落していないかチェック
ネジ	主要部分のネジがゆるんだり脱落していないかチェック
バッテリー	故障した場合は、バッテリーの外観や性能をチェック
充電器	充電コードに傷がついていないか、入力出力プラグが問題ないかチェック
潤滑油	車軸とブレーキに注油が必要かチェック

### ●バイクフレームをたたんで運ぶ方法

図のようにバイクフレームをたたんだ状態で運ぶことができます。



- ・両輪を中心部分で合わせます。
- ・補助輪が地面に着いているか確認してください。
- ・サドルの方向にハンドルを引いて動かします。

#### <注意>

- ・バイクフレームをたたむときに、手を挟まないようにしてください。
- ・サドルと反対方向に押すと左の車輪がロックして動きません。

## [18] トラブルシューティング

トラブル	考えられる原因	対処法
電源を入れてもアシストが効かない	電力がない	1.正しくバッテリーが入っているか確認 2.バッテリーの充電が必要か確認
アシストが十分発揮しない	1.バッテリーが十分充電されていない 2.タイヤの空気圧が低い 3.頻繁な加速、減速での乗車 4.バッテリーの老朽化もしくは、長期使用による電力減少 5.低温によるバッテリーの減衰	1.充電器が十分作動しているか確認 2.乗る前にタイヤの空気圧のチェックしたか確認 3.激しい乗り方をしていないか確認 4.バッテリーの交換をしたか確認 5.通常の気温だったか確認
バッテリーが充電出来ない	1.充電器のプラグが正しく差し込まれているか 2.バッテリー温度が低すぎないか 3.バッテリー温度が高すぎないか	1.プラグが正しく差し込まれているか確認 2.3.温度が正常になるまで待ったか確認
LCDディスプレイが動かない	1.電力がない 2.充電アダプターの故障 3.メーターの故障	1.バッテリーの状態を確認 2.3.販売元に確認
電源を入れてもモーターが作動しない	1.ブレーキがかかったままの状態になっている 2.メーターの故障	1.ブレーキの確認 2.販売元に確認

■お問い合わせ先 本取扱説明書の内容や本製品をお使いの上でご不明な点がございましたら、お買い求めの販売店または下記のサポートセンターまでお問い合わせください。

**株アントレックス**  
**お客様サポートセンター E-mail support@entrex.co.jp**

〒300-4102 茨城県土浦市本郷字原山20番27